

科目名	建築概論	英語科目名	Introduction to Architecture	
開講年度・学期	平成 26 年度・通年	対象学科・専攻・学年	建築学科1年	
授業形態	講義	必修 or 選択	必修	
単位数	2単位	単位種類	履修単位(30 単位)	
担当教員	建築学科全教員	居室(もしくは所属)	建築学科棟	
電話		E-mail		
授業の到達目標	授業達成目標との対応			
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標(JABEE)	JABEE 基準	
1. 生活と建築のかかわりを知る。	③			
2. 文化としての建築を知る。	③			
3. 建物を造ることを理解する。	③			
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法				
1, 2, 3はレポートの内容および中間試験、定期試験の結果により評価する。				
評価方法				
レポート評価(70%)と定期試験(前期中間、前期定期、後期中間、年度末)評価(30%)とする				
授業内容				
1 回目	ガイダンスと建築学科の紹介			
2 回目	街にある建物とその構成			
3 回目	安心して暮らせる建物や街をつくるために			
4 回目	自然と建築、建物内の環境			
5 回目	学内の建物を見る			
6 回目	改修された建築学科棟			
7 回目	建物と災害			
8 回目	中間試験			
9 回目	建物を長く使うために			
10 回目	建物の建設にかかわる人			
11 回目	建物の変遷			
12 回目	建物の変遷			
13 回目	世界遺産と建築			
14 回目	知っておきたい近代建築			
15 回目	ものづくりとしてのコミュニケーションツールー図面ー			
16 回目	建築とコンピューター			
17 回目	建築の計画1			
18 回目	建築の計画2			
19 回目	室内空間計画(インテリア)			
20 回目	建築の構造1			
21 回目	建築の構造2			
22 回目	建設現場を見学する(建物改修)			
23 回目	中間試験			
24 回目	建築の設備1			
25 回目	建築の設備2			
26 回目	建築の設備3			
27 回目	建物の構法			
28 回目	建物の生産形態			
29 回目	建物の維持管理			
30 回目	建築学体系			
キーワード	建築計画、建築構造、建築設備、環境、建物の生産、維持管理			
教科書	構造用教材(構造、構法関係の時間に使用)。その他、必要に応じてプリントの配布。			
参考書	建築計画、建築構造、建築設備、環境、建物の生産、維持管理			
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	—			
現学年の関連科目	創造演習Ⅰ、フロンティア技術入門			
次年度以降の関連科目	建築を学ぶすべての科目に関連。			
連絡事項				
建築に関連する知識を深めるため日頃から周囲の風景や建築物に気を配るように心懸ける。				
シラバス作成年月日	平成 26 年 2 月 28 日			